

当院にて治療を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学歯科矯正学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 研究課題名

有床義歯装着者と有床義歯非装着の 8020 達成者における咬合力の比較検討

2. 研究目的

一般に入れ歯を装着されている方は入れ歯を装着していない方と比較して噛む力（以下、咬合力）が低いといわれています。その咬合力は、歯の数や入れ歯の形態、性別などの様々な要素により影響をうけることがわかっています。我々はこれまで 80 歳以上で 20 歯以上の歯を有するいわゆる 8020 達成者の咬合力について、さまざまな対象者と比較調査してきました。しかし、入れ歯を使用している患者様との咬合力について詳しい比較はあまり行われていません。そこで今回はこれらと比較することにより咬合力に影響している要素を明らかにするために当病院において奥歯を 4 本以上失っており入れ歯を装着されている患者様の咬合力のデータを用いて、8020 達成者の咬合力と比較いたします。

3. 研究方法

調査の対象となるのは、2018 年 4 月 1 日以降 2022 年 5 月 31 日までに入れ歯を作るために高根病院歯科へ来院された患者様です。歯の数や年齢、性別、入れ歯の入っている部位を調べ、咬合力・噛む圧力（以下、咬合圧）・噛む面積（以下、咬合接触面積）を測定させていただきます。咬合力測定は、専用の機器にて解析します。測定した咬合力は 8020 達成者の皆様方の咬合力と比較します。8020 達成者の皆様方は 2000 年文京区歯科医師会ならびに 2001 年千葉県歯科医師会 8020 達成者キャンペーンの参加者のうち東京歯科大学千葉歯科医療センターにてお口の中の写真・歯の型・歯の全体のレントゲン写真、咬合力・咬合圧・咬合接触面積の資料を採らせていただいた方です。8020 達成者の皆様方の歯の数や年齢、性別、入れ歯の入っている部位、咬合力・咬合圧・咬合接触面積のデータを使用いたします。8020 達成者の歯列模型、口腔内写真、パノラマエックス線写真、ならびに咬合力検査結果のデータを用いて評価を行ないます。

4. 研究期間

本研究の研究期間は、2022 年 7 月 15 日～2026 年 3 月 31 日です。

5. 研究により得られた結果等の説明に関する方針

本研究から得られる結果は、学会発表をもって研究対象患者様への公開とします。

6. 個人情報等の取り扱い

当該研究での個人情報の取り扱いについては他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないよう加工した上で研究・解析に使用します。個人情報は情報管理者（野村真弓）が鍵のかかる棚に責任をもって管理致します。高根病院歯科の施錠棚に5年間保管し、保管終了後は情報管理責任（野村真弓）が廃棄致します。

8020 達成者のデータについては情報管理者（森川泰紀）が千葉歯科医療センターの鍵のかかる場所に責任をもって管理し、保管終了後は情報管理者（森川泰紀）が廃棄致します。

7. 研究に関する情報公開の方法

本研究は日本矯正歯科学会にて発表を予定しております。その際、患者様が特定されるような情報は公開致しません。

8. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

本研究によって患者様に新たな負担が生じることはなく、今後の治療に対していかなるリスクや不利益および利益も生じません。

9. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

10. 研究協力の撤回について

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

11. 費用等に関すること

本研究は、患者様の費用負担はありません。また、利益相反は生じません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学 歯科矯正学講座

研究責任者（試料・情報管理責任者） 野村 真弓

連絡先 矯正歯科 03-5275-1724